

2015 秋 ベトナム戦争終結40周年記念／ベトナム枯葉剤爆弾被害者支援

ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート

～ベトナムの魂 チンコンソンの世界～

54の民族が織りなす1000年の歴史のハーモニー



国立ボンセン劇場
選抜グループが来日!



企画招聘：IFCC 国際友好文化センター／企画共同：日本ベトナム平和友好連絡会議(JVPF)／後援：駐日ベトナム社会主義共和国大使館 他

ベトナム戦争終結40周年記念／ベトナム“枯葉剤爆弾被害者支援”

ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート2015のご案内

コンサート

今回協力していただく“民族アンサンブル”はホーチミン市在の国立ボンセン劇場選抜の音楽家、舞踊家で構成されたグループです。国家優秀芸術家称号をもつグエン・アン・タンをはじめ海外公演の経験豊富なメンバーで、JVPFの活動に賛同いただき来日公演が実現しました。人口の90パーセントを占めるキン族（ベト族）をはじめ53もの少数民族を抱えるベトナムの様々な要素が重なり独特の音色を醸し出します。



一弦琴

ベトナムの魂 吟遊詩人・チンコンソンの世界 (Trinh Cong Son)

都市の若者たちの愛国運動に大きな影響を与えました。今回も隻腕のギター演奏家グエン・テ・ビンの演奏で魂の響きをお届けします。

ベトナム音楽界の巨星チンコンソンは、1939年2月28日に、ダクラク省で生まれ、フエで成長、クイニン省師範大学を卒業。卒業後の入隊を拒否し、教師を続けながら生計を立て、1959年から歌の創作を始めました。チンコンソンの音楽は1960年から大衆の支持を受け、特に1967年から1975年の時期、南ベトナムの各地



チン・コン・ソン



トルン

枯葉剤爆弾

1960年代後半にアメリカ軍によって使用された化学兵器である“枯れ葉剤”による子ども達への影響は今も拡大しており、各国のボランティアグループも援助の手を差し伸ば始めています。特に両親が被災した子どもへの後遺障害、遺伝子傷害など子孫への影響は予測不可能なほどです。日本でも知られている“ベトちゃん、ドクちゃん”の事例はほんの氷山の一角です。1960年後半から1970年代始めのベトナム戦争中、猛毒で発癌性の強いダイオキシンが大量に含まれる“枯れ葉剤”の投下された量は7500万リットル、その影響範囲は南ベトナムの4分の1に当たる2万3360平方キロといわれています。1961年の枯葉剤爆弾投下から53年以上を経ましたが、今もなお体内に宿り、永続した人間破壊兵器と化しベトナム国民を襲い続けています。

支援

1996年の開始以来、チャリティーコンサートで作られました基金はベトナム各地の被害者に届けられてきました。1回目の収益金60万円はホアビン村（ハノイにあるリハビリ施設）に届けられ、同所では、1998年からリハビリ通所のための奨学金を実施。1997年はタイピン省の子供救護委員会に、約170万円を寄付。1998年はベトナム南部のタイニン省（ホーチミン・ルートの出口で枯れ葉剤投下の激しかった場所）の病院へ支援総額1,449,600円。1999年度はベトナム中部のクアンチ省などへ支援し、累計総額は480万円になります。



刺繍絵製作業中の被害者たち

2001年より、タイピン省でリハビリ医療施設建設プロジェクトがスタートし、2004年2月に開所。プロジェクトは総額15万米ドル（日本側80,000ドル、ベトナム側70,000ドル相当）で、コンサート収益金で約1,100万円をつくる。その後、リハビリ後の障害者の自立を目指して日本国「草の根無償協力」を要請し「障害者職業訓練センター建設」（1,000万円）開所。同所では現在、刺繍絵製作などで自立生産作業が行われています。

2012年から、北部ヴンフック省、南部カントー市、ベンチェ省、ビエンホア省、中南部ダクラク省、ラムドン省、ピンフック省、タイニン省などで調査・慰問を実施。また埼玉JVPF、広島HVPFも夫々中部のクアンナム省、クアンチ省で支援活動を実施してきています。

2015日本公演プログラム“ベトナムの色彩”（予定）

演舞／南部地方の踊り“Dang Dan Cubg”

ソロ／ベトナム仕様笛演奏♪ きずな

ソロ／ベトナム仕様楽器コニ演奏”
タイグエン地方のメロディー”

舞踊／“椰子の実取り”

ソロ／ダン ダーイ演奏♪ 満月

ソロ／クロンブット演奏♪

Mua Xuan Den(春の訪れ)

舞踊／“Mam Vang”

ソロ／ベトナム仕様一弦琴（ダンバウ）演奏♪

ベトナム賛歌

演舞、歌／古都フエの古謡♪ 古都の景色

舞踊／少数民族チャム族の踊り“永久の祈り”

アンサンブル演奏♪ 遥かなる高原

ソロ／歌♪ Tinh Ca

他、（全17曲）

企画：IFCC国際友好文化センター

東京都新宿区山吹町333 辻ビル405

TEL 03-3268-4387

FAX 03-3268-6079

■ 日越友好プロジェクト基金へのご協力は、次の口座をお願いします
中央労働金庫本店（普）1145118 「国際友好文化センター」

※収支報告・活動案内を致しますので、ご協力の際は必ずご氏名・住所をご一報ください。